

評価結果概要表

【評価実施概要】

作成日 平成21年11月5日

事業所番号	2773801291	評価機関名	特定非営利活動法人
法人名	医療法人 健泉会		近畿マネジメント・サポート・センター
事業所名	グループホーム 西松庵	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
所在地	羽曳野市高鷲七丁目82番	評価調査日	平成 21 年 10 月 28 日
	電話 072-953-1511	評価確定日	平成 21 年 11 月 10 日

【情報提供票より】（平成21年10月1日事業所記入）

（1）組織概要

開設年月日	平成18年1月1日
ユニット数	2 ユニット
職員数	34 常勤 6 人 非常勤 11 人 常勤換算 6.0 人

（2）建物概要

建物の構造	鉄骨造り
	2階建ての 1～2階部分

（3）利用料金等（介護保険自己負担分を除く）

家賃（1月）	50,000円	その他の経費	34,000円
敷金	有（260,000円）		
保証金の有無 （入居一時金を含む）	有 240,000円		
	償却 有 期間 2年	以降返却なし	
食材料費	朝食 200円	昼食 600円	
	夕食 300円	おやつ 100円	
	または1日当たり	1,200円	

（4）利用者の概要（10月1日現在）

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	1名	要介護2	4名		
要介護3	9名	要介護4	2名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢 平均	89才	最低	78才	最高	98才

（5）協力医療機関

協力医療機関名	森クリニック
	船内クリニック・芝池歯科医院・しまだ耳鼻咽喉科

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

ホームの所在地は住宅地域の端にあり、裏側は田園風景が広がっている。そして昼間は、太陽が明るく共用室に差し込み、ご利用者はベテランの介護職員の温かな見守りの中で、自由に過ごしており、併設のデイサービスの協力で、ボランティアの集いや、時には音楽療法に参加して、楽しく和やかに生活を送っている。昼食は日曜日を除き、毎日、9品のメニューが提供され喜ばれています

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況（関連項目：外部4） 地域の方々との交流については、運営推進会議に出席して頂いている地区老人会会長様の長年の地域活動のご経験を活かし、適切な指導、情報提供等を頂き、少しずつ交流を進めている。特に、近在の住民に呼び掛けて認知症への相談会を開催し、職員が説明役としてお役に立たせて頂いている。又、ご利用者ごとに毎日の介護記録を追加し、新介護計画作成に活かしている 今回の自己評価に対する取り組み状況（関連項目：外部4） ホームは開設以来、5年目を迎えようとしている、職員の中で3年目以上の勤続者の14名が中心となり、安定した介護に当たっています。今回の自己評価に際しては、各階の計画作成者、兼リーダーが中心となり、各職員との間で検討を重ねて作成している。更に職員は、日常的なサービス向上になるよう、積極的に取り組んでいる
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み（関連項目：外部4、5、6） 所在地は歴史的な時代からの集落を中心としているので、現在の運営推進会議に出席して頂いている老人会会長様には、地区に詳しいご経歴を活かした幅広い活動と、情報を提供して頂いている。高齢化が進んで来て、地域の方々からも認知症への関心が高まり、職員が招かれて、地域の方々への説明を勤めさせて頂いている
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映（関連項目：外部7、8） ホームの行事に合わせて家族会を開催したり、運営推進会議への代表出席等で、ご家族からのご意見等を承っている。今回のご家族アンケートでも殆どの方から、介護については、ご満足を受けている。尚、毎月、お届けしている請求書には、短信を添えて発送している
重点項目④	日常生活における地域との連携（関連項目：外部3） 地域の住宅街のはずれにあるので、日常的な住民の方々との交流は難しいが、ホームの行事には、案内書を配布して、参加して頂けるよう配慮している。又、散歩途中でのご挨拶は殆どないので、地域行事等への参加や、幼・小学校等との交流促進等を検討している。そして地域の方々へ、認知症への対応の説明会をはじめ、見学来訪、交流等を深めたいと努力している

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部 自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営				
1 理念と共有				
1	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている		理念 「あなたに寄り添い尊厳を守り、あなたらしさを発揮できる、そんな生活を実現します」を掲げている
2	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる		施設長の指導の基に、職員は理念の実践に努めている
2 地域との支えあい				
3	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている		運営推進会議に出席して頂いている地区老人会会長様のご指導を頂き、交流を進めている
3 理念を実践するための制度の理解と活用				
4	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる		外部評価の意義は、全職員が理解し、日常的にも介護向上への検討努力を行っている
5	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている		運営推進会議は定期的開催され、出席者から情報の提供や、交流が行われ、サービスの向上に活かしている
6	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる		事業所担当者は運営上の各種の事項について、市のご担当者にお問い合わせ、問題の解決、その他について、相談等をしている
4 理念を実践するための体制				
7	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている		ホーム側からの毎月の発送文書には、ご利用者の短信を添えている。来訪時や3ヶ月ごとの介護計画の見直し時には、出来るだけ詳細な報告をしている
8	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている		運営推進会議には、ご家族代表者に出席して頂き、発言もして頂いている。又、日常でも、ご意見、ご提案があれば、対応を図っている

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9 18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の年間の退職者は数名程度、主力となる３年以上のベテラン職員が半数以上の１４名で、安定した介護を実施している。新入職員の見習い研修等は、期間を定めて実施している		

5 人材の育成と支援

	10 19	○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は毎月定例的に、情報交流与研修を受けている。特に、職員の一部には、資格取得の経験年数を満たすようになり、意欲を持って努力している		
	11 20	○ 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている	地域の事業者間で交流の機会があり、相互訪問、研修会等でサービス向上の機会としている		

Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12 26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	最初のご利用者、ご家族には、デイ・サービスの見学も含めて、納得して頂けるよう図っている。新入所の方には別のサービス体制をとりながら、早く馴染んで頂けるよう配慮している		
--	-------	--	---	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13 27	○ 本人と共に過ごし、支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごししながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、ご利用者と一緒に簡単な調理、部屋の掃除、洗濯物干し、畳むこと等で、関係を築いている		
--	-------	---	---	--	--

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14 33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員、ご利用者と意思疎通を図りながら、希望や意向の把握に努めている。掃除、片付け等も一緒にする等も、適宜、行っている		
--	-------	---	--	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15 36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	管理者は各階ごとに、職員同士のご利用者の日常生活の言動、所作等の観察結果等の記録確認を行い、介護計画に活かしている		現在のレベルを落とすことなく続けて欲しい
--	-------	--	---	--	----------------------

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	温かな日々の見守りの記録は、3ヶ月ごとに見直し、新計画の策定が行われている		

3 多機能性を活かした柔軟な支援

17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	ご利用者、ご家族の状況に応じて事業所としての支援を出来る範囲内で行っている		
----	----	--	--	--	--

4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	毎月1回、内科医、及び歯科医の往診を頂いている		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化の場合には内科医と連携し出来るだけ早い段階で、ご家族と入院等の話し合いをしている。又職員とは、情報交換を密にしている		

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1 その人らしい暮らしの支援

(1) 一人ひとりの尊重

20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	職員は、日常会話の中で、仲間同士でチェックし合っている。特に、個人記録類は別な管理を行っている		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常的な生活の順序は、自然な流れの中で進められているが、本人の希望には出来るだけ沿うよう心がけている		

(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ホームの昼食は、炊事担当部門の温かな配慮で、品数、味付けが、されていて、ご利用者の楽しみとなっている。特に職員は、体重を考慮しながら配膳している		
----	----	--	---	--	--

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		○ 入浴を楽しむことができる支援			
23	57	曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は一応定められた曜日と回数となっているが、ご本人の希望には、出来るだけ応じている		

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

		○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援			
24	59	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ご利用者ごとの把握された楽しみごとで、過ごして頂いている		
		○ 日常的な外出支援			
25	61	事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している	日常は施設内の庭で楽しんで頂いている。又、希望者には買物、遊歩道、車での外出等を行っている		

(4) 安心と安全を支える支援

		○ 鍵をかけないケアの実践			
26	66	運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	デイ・サービスの併設もあり、危険防止のため、職員は弊害を認識しながら、玄関通路の鍵かけとなっている		
		○ 災害対策			
27	71	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署との連携による避難訓練を実施している。地域のご協力については、現状、予測できない	○	夜間を想定した訓練も実施を検討して欲しい

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

		○ 栄養摂取や水分確保の支援			
28	77	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分、排泄等の管理は出来ており、食事カロリーも制限内の配慮をしている		

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

		○ 居心地のよい共用空間づくり			
29	81	共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	職員と一緒に季節感のある飾り付けを行っている。敷地内の花も飾りに利用している		
		○ 居心地よく過ごせる居室の配慮			
30	83	居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	一人ひとり、自由に家財道具類を居室に置き、楽しんで暮らしている		